

佐 潟 通 信

2016年6月

56号

◇ 佐潟のようすⅠ ～春から夏～



暑いぐらいの春のせいか、佐潟にもツバメやオオヨシキリなどの夏鳥たちが少し早めに飛来してきています。ヒシやハスなどの水生植物も6月上旬には、目に付くようになり湖面が緑色に変わってきています。



◇ 佐潟のようすⅡ



佐潟は1996年3月23日（平成8年）にラムサール条約に登録され、今年20周年を迎えました。国内では10番目の登録でした。

ラムサール条約の正式な名前は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」と言います。

しかしとても長い名前なので、1971年にイランのラムサール（Ramsar）で最初の会議が開催されたことからラムサール条約と呼ばれています。

湿地は水鳥だけでなく魚や貝、昆虫、鳥、獣などの生きものにとって、とても大切な場所です。そんな世界中にある湿地を守っていくために、様々な国の人たちが手をつないでいこうと考えたのです。それまでは国どうしのつながりで自然を守ろうとする決まりはなかったので、ラムサール条約が一番最初の決まりとなりました。



登録認定証

◇ 佐潟のようすⅢ 田んぼで田植え

5月末、野鳥観察舎のとなりで、1アールほどの水田に子ども自然体験グループ「佐潟探検隊（さかたん）」が田植えを行いました。かつての佐潟の水田環境を考察し、潟でのお米作りの苦労と共同作業の達成感を体験しました。この水田は、自然生態観察園とともに水生昆虫や魚、水生植物などいきものを中心とした環境学習にも活用されます。佐潟の自然とふれあう格好の場となっており、復元した水田と自然環境は地元の人たちの期待を集めています。

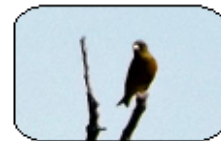


◇ 佐潟のようすⅣ

ラムサール登録20周年企画

小鳥さえずる佐潟で春散歩2016

4月24日(日)、佐潟ボランティア解説員と自然観察をしながら、新緑の佐潟(上潟)を散歩しました。晴天の早朝、ボランティア解説員のわかりやすい解説で冬鳥のベニマシコ、夏鳥のオオヨシキリ、姿を見ることが難しいアリスイが見られて楽しいイベントになりました。



◇ 佐潟のようすⅤ

サトイモ科 ショウブ属 常緑多年草

ショウブ(菖蒲)

5月中旬から佐潟でも佐潟橋をわたり桜並木沿いに菖蒲を見ることができます。水無月(みなづき)は菖蒲について紹介します。



名の由来は、細く長い葉がアヤメ模様に見えることから、古名を菖蒲草(アヤメグサ)と呼び「万葉集」に歌われて菖蒲草をアヤメグサと読ませました。菖蒲(ショウブ)の名は漢名の音読みから、中国の生薬名の菖蒲根(ショウブコン)から使っています。花屋ではショウブとは、アヤメ科のハナショウブのことをいいます。

【菖蒲を五月の端午の節句に用いる理由】

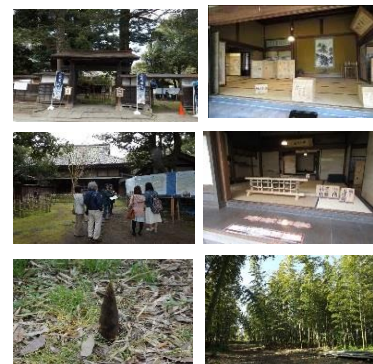
「万葉集」の菖蒲は「玉に貫く」で香料を詰めた薬玉(くすだま)と考えられています。

「続日本記」には、5月5日に菖蒲の葉を冠に垂れ下がらせた飾りのカズラ(菴)にして宮中に参内しました。中世以降の武家社会では、ショウブは尚武(ショウブ)に通じると考えられ、特有の強い香気が邪気を払い降魔の力を持つと考えられています。端午の節句のしょうぶ湯にはこの葉を使います。

◇ 佐潟のようすⅥ

(地域のイベント活動)

4月16日、17日の両日、江戸時代末期に建てられた豪農の邸宅「中原邸」が一般公開されました。中原邸は地域で新田開発を担った中原家の邸宅で、敷地の広さは約1万3千平方メートル(約4千坪)。ふすまや天袋に、新潟出身の絵師、行田魁庵(なめたかいあん)や松川藤陰らの絵が描かれています。旧北国街道沿いにあり、1878(明治11)年、明治天皇が北陸巡幸で立ち寄りしました。5月に入ると中原邸保存会のみなさんによる約1500坪の竹林で筍取りが盛んです。



フリーWi-Fi供用開始

4月から佐潟水鳥・湿地センターで無料の公衆無線N i i g a t a C i t y Wi-Fiが利用できます。スマートフォンやタブレット端末の利便性向上や災害発生時の通信確保を図ります。



佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内 【開館時間】9:00~16:30(11月から2月の土・日は7:00から) 【休館日】月曜日(祝休日の場合は翌日)、年末年始(12月29日~1月3日)



編集 佐潟水鳥・湿地センター
〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1
電話025(264)3050 / FAX 025(264)3051
E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp
発行 新潟市西区役所地域課文化・スポーツ係
〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号
電話025(264)7193

ラムサール条約湿地

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にご連絡ください。